

麻しん（はしか）にご注意ください

新聞等で報道されているとおり、瀬戸市においても、感染者が報告されました。

麻しんは、感染力が極めて強く、感染するとほぼ100%が発症し、肺炎、中耳炎を合併しやすく、患者1000人に1人の割合で脳炎を発症すると言われています。



幼少期に予防接種をしている場合が多いため、現在では麻しんにかかる人はほとんどいない環境にありますが、予防接種を受けていなかったり、1回の接種で免疫がしっかりつかなかったりした人たちの間で感染が拡大しています。

＜原因＞	麻しんウイルス
＜感染方法＞	空気感染（患者がいれば、その空間にウイルスが漂っていて吸い込む） 飛沫感染（会話や咳、くしゃみのしぶきでウイルスが拡散する） 接触感染（患者と直接ふれ合うことで、ウイルスが侵入する）
＜潜伏期間＞	10日～12日
＜症状＞	38℃程度の発熱、咳や鼻水といったかぜに似た症状が続き、その後、全身に発疹が出る。口の中に白い斑点（コプリック斑）が見られることが特徴のひとつ。重症化すると、合併症を起こし死亡することもある。
＜予防方法＞	ワクチン以外効果的なものはない。（マスク、手洗い、うがいは効果なし）

＜感染拡大防止のため、市内小中学校では以下のような対応をとります＞

- 麻しんにかかったことがなく、予防接種を受けていない児童生徒を確認します。
- 健康観察をしっかり行い、体調不良者の迅速な対応に努めます。

ご家庭におかれましても、麻しんにかかったことがあるか、予防接種を受けてみえるのか（「麻しん」または「麻しん・風しん（MR）」の予防接種履歴）を母子健康手帳にて、今一度ご確認くださいようお願いします。

麻しんについて、ご不明な点やご心配な点がございましたら、瀬戸市健康課（85-5511）までお問い合わせください。